

1-1 建物概要

建物名称		
竣工年月	2019年2月	予定
建設地	宮城県宮崎市	
用途地域	第一種低層住居専用地域	確定
省エネルギー地域区分	7 地域	
構造・構法	木造・軸組工法	確定
階数	2	
敷地面積	271 m ²	確定
建築面積	102 m ²	確定
延床面積	126 m ²	確定
世帯人数	3	確定

仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等	確定
	外構の仕様	仮
<備考>		
評価の実施日	2018年8月27日	
作成者	下原	
確認日	2018年8月27日	
確認者	下原	

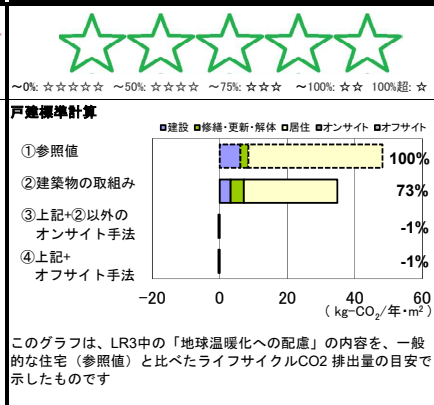
1-2 外観

<p>外観/パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください</p>

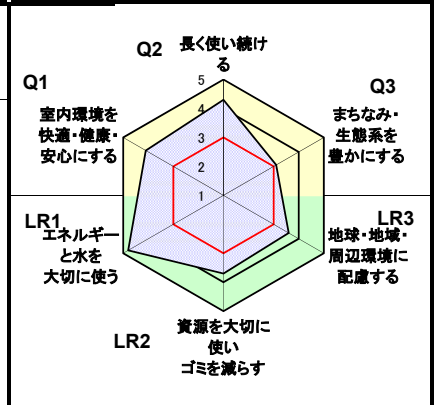
2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)



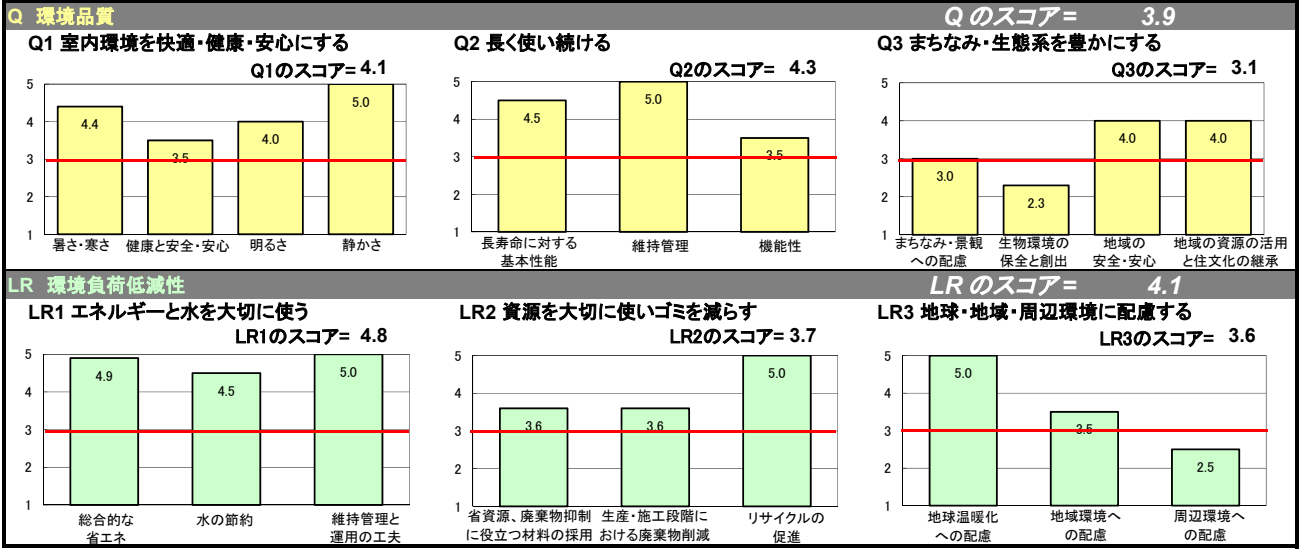
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

<p>総合 建物の断熱性能の向上に加え、換気、給湯、照明仕様の負荷の軽減によりBEEI☆☆☆☆とする。</p>	<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする 性能の高い開口部材を採用し、外皮平均熱貫流率:0.56(Ⅲ地域)を越える性能値とする。その事により換気の負荷軽減を行う。Mahatシステムの採用により室内温度差をなくす。</p>	<p>Q2 長く使い続ける 耐震等級:3・耐風等級:2とし、外壁通気工法により躯体長寿命化を謀る。給水・給湯ヘッダー方式の採用による維持管理のしやすい体制とする。</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う 節水について水優先吐水、小流量吐水機能の採用。電気ヒートポンプ給湯器、食洗器を用いる。</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす 構造部材のフレット材の使用。施工現場での分別収集の実施。</p>
<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする 近隣の敷地に対し十分な後退距離をとることにより見通しの確保を考慮した。接道部分をオープン駐車場とした。</p>	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する 従前の地形を改変せず、敷地内の緑化を心がけ自然環境の保全に務めた。分別ストックスペースを設けた。</p>